

「後期高齢者医療制度」 中止・撤回が当然

高齢者医療費負担増

少なくとも来年実施は凍結しなさい

学習会が各地・各団体で一怒りが広がる

9/1に開かれた「どうするどうなる後期高齢者医療制度」シンポには、会場からあふれそうな400人を越える参加者でした。感想でも「勉強になった」のほか「こんな制度は中止すべきだ」と怒りが多く出されていました。

この間市内各地域でも、9/8東区母親集会、9/15清田区革新懇、共産党北区地区、9/18南円山地域、北部民商役員会などで学習会が開かれ、今までになく多くの参加者が集まっています。

怒りを運動につなげよう

学習会参加者はこの制度のひどさ・高齢者の負担増を知り、驚きから怒りに変わる人が多く、署名用紙やピラもたくさん使われ始めています。学習会を無数に開催し、宣伝・署名を強化していきましょう。来年からの改悪実施を知らない人がまだまだいます。与党・政府からも制度の見直しや負担増凍結の発言が相次いでいますので、絶好のチャンスです。



写真上9/1シンポ、下9/15清田区学習会

埼玉県の後期高齢者医療保険料試算（年額）

埼玉県の保険料試算は下記の通り。保健事業（健診）や葬祭費（死亡時の給付金）が入っている例です。

調整交付金は全国の平均的な所得水準の県には満額、高い県には減額して国から交付されるものです。1人あたり老人医療費で埼玉は47県中28位でこの水準です。老人医療費全国2位の北海道は、平均84,000(月額7,000)円ではすまない可能性が高いでしょう。

埼玉県の保険料試算(円)	均等割	所得割	合計
調整交付金75%の場合	40,300	53,700	94,000
調整交付金満額の場合	40,300	40,300	80,600

後期高齢者医療制度・高齢者負担増の中止・凍結を求める要請行動

日時：9月25日（火）

13時に市役所1階ロビー集合

行動：市議会各会派へ国に意見書をあげるように要請、また広域連合議員一上田市長、畑瀬議員(民主)へも要望書を持っていきます。

各団体から参加をお願いします。

町内会長さんから何度もピラの要請

清田区のある町内会の会長さんには「後期高齢者」ピラを9月初めに500枚送ったところ、最近再び要請がありました。「負担増対抗ピラ（6月に作成した相談ピラ-これも以前500枚送っていた）」と「後期高齢者」をそれぞれ500枚ずつ送りました。町内会の皆さんにセットで配ると言っていました。

これから暖房料がかかる季節、負担増の中で暮らしの困難が広がりますー相談活動を強めましょう！
10.15暮らしを守れ、最低保障年金確立、高齢者医療負担増・後期高齢者医療制度中止、統一行動を！！

原油の高騰で今年の灯油代も高値が心配されます。負担のきびしい人の中には、「灯油代を払ったら国保料を払えない」などの人も出てきます。相談活動を強化しましょう。10月15日(月)の年金支給日には、年金者組合と共同で、負担増に対抗する大宣伝を行いましょ。